

## CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」において 「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に初選定

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都中央区、社長:鈴木郷史)は、持続可能な経済を実現させる活動を行う国際 NGO である CDP が実施したサプライヤー・エンゲージメント評価(SER)において、当社グループが気候変動課題に対して効果的にサプライヤーと協働していることを評価され、最高評価である「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に初めて選定されました。なお、2021年12月に発表された CDP 気候変動分野全体の調査においても、当社グループは初めて最高評価「Aリスト」企業として選定されています。

➤CDP より最高評価の「気候変動 A リスト」企業に選定 (2021年12月8日)

[https://ir.po-holdings.co.jp/news/news/news6651991782860530117/main/00/link/202112\\_CDP.pdf](https://ir.po-holdings.co.jp/news/news/news6651991782860530117/main/00/link/202112_CDP.pdf)



CDP の「サプライヤー・エンゲージメント評価(SER)」は、CDP が企業・団体に行う気候変動に関する調査のうち、4つの項目(ガバナンス・目標・スコープ3 排出量・バリューチェーンエンゲージメントのカテゴリー)に対する回答に基づいてサプライヤー・エンゲージメントの取り組みが評価されます。2021年の調査においては、当社グループが気候変動課題に対しサプライヤーと効果的に協働していると評価を受けたものと考えています。この最高評価である「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」には、全世界の企業・団体のうち上位8%・約500社が選定されました。

### CDPについて

CDP は、企業や自治体を対象とした世界的な環境情報開示システムを運営する国際環境非営利団体です。2000年に英国に設立され、110兆米ドルを超える資産を保有する590強の投資家と協働し、資本市場と企業の調達活動を介して、企業に環境情報開示、温室効果ガス排出削減、水資源保護、森林保護を他に先駆けて働きかけてきました。CDP は、TCFD に完全に準拠した世界最大の環境データベースを保有しており、CDP スコアはゼロカーボンで持続可能な耐性のある経済の実現に向けて投資や調達の意思決定を促すために広く利用されています。

➤CDP ウェブサイトはこちらから

<https://www.cdp.net/ja>

【報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先】(株) ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室  
広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail [webmaster@po-holdings.co.jp](mailto:webmaster@po-holdings.co.jp)

※在宅勤務を推奨しておりますので、お電話がつかない場合はメールにてお問い合わせください。

## 当社の取り組みと環境目標について

世界的に喫緊の課題となっている気候変動に対し、当社グループでは、気候変動を経営レベルのリスクかつ機会と捉え、地球・社会・環境との共生に向けた目標として、2029年度までに温室効果ガス排出量を始めとする環境目標を掲げています。具体的な取り組みは、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言に賛同し、気候変動が事業に与えるリスクや機会の情報開示、シナリオ分析を進めている他、生産工場や事業所において100%再生可能エネルギーに由来するCO<sub>2</sub>フリー電力へ切り替えてきました。更に、目標達成に向けて環境目標の達成度を役員報酬に連動する事で、コミットメントレベルと実効性を高めています。

### 【2029年ポーラ・オルビスグループ環境目標】

- ・CO<sub>2</sub> 排出量削減 (Scope 1, 2)  
42%削減 (排出量、基準年 2019 年)
- ・CO<sub>2</sub> 排出量削減 (Scope 3)  
30%削減 (排出量、基準年 2019 年)
- ・水使用量削減  
26%削減 (売上原単位、基準年 2019 年)
- ・廃棄物量削減  
26%削減 (売上原単位、基準年 2015 年)



## ポーラ・オルビスグループのサステナビリティプラン

当社グループでは、2017年にグループ理念を策定すると同時に、ポーラ・オルビスグループ行動綱領の改定、理念実現のためのサステナビリティステートメントを策定しました。「先端技術・サービスによるQOLの向上」「地域活性」「文化・芸術・デザイン」の3つの軸に加え、企業の基盤となる「人材活躍」と社会的責任である「環境対応」を土台とした5つの領域で、非財務目標を設定しています。

当社グループでは、持続可能な事業活動を実現する事でステークホルダーの皆さまとの信頼関係を強化し、今後も企業価値の向上につなげて参ります。

## 関連情報

➤ 当社グループのサステナビリティプラン (2021年2月12日)

<https://www.po-holdings.co.jp/csr/data/pdf/sustainability2021.pdf>

➤ 当社グループのサステナビリティレポート

<https://www.po-holdings.co.jp/csr/data/archive/>

➤ ポーラ・オルビスホールディングス TCFD に賛同 (2021年3月8日)

[https://ir.po-holdings.co.jp/news/news/news6095362337745989841/main/0/link/20210308\\_POHD\\_TCFD.pdf](https://ir.po-holdings.co.jp/news/news/news6095362337745989841/main/0/link/20210308_POHD_TCFD.pdf)

➤ 「FTSE4Good Index Series」「FTSE Blossom Japan Index」「MSCI 日本株女性活躍指数(WIN)」に選定 (2021年6月18日)

[https://ir.po-holdings.co.jp/news/news/news3255684426265904522/main/0/link/20210618\\_POHD\\_ESG\\_invest%20index.pdf](https://ir.po-holdings.co.jp/news/news/news3255684426265904522/main/0/link/20210618_POHD_ESG_invest%20index.pdf)